

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年01月31日

計画の名称	鎌ヶ谷市における下水道の普及による快適な暮らしの環境づくり（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和02年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	鎌ヶ谷市												
計画の目標	公共下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、水環境や生活環境を改善する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,593	A	1,593	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	①公共下水道を52ha整備し、下水道処理人口普及率を61.6%から68.0%に増加させる。 鎌ヶ谷市総人口のうち、公共下水道（汚水）が使用可能な人口の割合 下水道処理人口普及率 = (処理区域内人口) / (行政区域内人口)	62%	66%	68%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—
当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。								

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	鎌ヶ谷市	直接	鎌ヶ谷市	管渠（ 污水）	新設	鎌ヶ谷西6号幹線（未普及 解消）	L=487m	鎌ヶ谷市		■	■			4	—	
	A07-002	下水道	一般	鎌ヶ谷市	直接	鎌ヶ谷市	管渠（ 污水）	新設	鎌ヶ谷西6-1号幹線（未普及 及解消）	L=86m	鎌ヶ谷市		■				25	—	
	A07-003	下水道	一般	鎌ヶ谷市	直接	鎌ヶ谷市	管渠（ 污水）	新設	鎌ヶ谷西4号幹線（未普及 解消）	L=103m	鎌ヶ谷市		■				30	—	
	A07-004	下水道	一般	鎌ヶ谷市	直接	鎌ヶ谷市	管渠（ 污水）	新設	手賀沼処理区 枝線整備 (未普及解消)	A=38ha	鎌ヶ谷市	■	■	■			1,110	—	
	A07-005	下水道	一般	鎌ヶ谷市	直接	鎌ヶ谷市	管渠（ 污水）	新設	江戸川左岸処理区 枝線 整備（未普及解消）	A=7ha	鎌ヶ谷市	■	■	■			345	—	
	A07-006	下水道	一般	鎌ヶ谷市	直接	鎌ヶ谷市	管渠（ 污水）	新設	鎌ヶ谷南1号幹線（未普及 及解消）	L=69m	鎌ヶ谷市			■			79	—	
												小計					1,593		

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況								
												H30	H31	R02	R03	R04											
一体的に実施することにより期待される効果																											
備考																											
											合計						1,593										

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30				
配分額 (a)	97				
計画別流用増△減額 (b)	7				
交付額 (c=a+b)	104				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	104				
うち未契約繰越額(g)	10				
不用額 (h = c+d- e- f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	9.61				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					